

宇都宮市立富士見小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがありますか」の肯定的解答率は、全国平均を3.3ポイント上回っていた。自己有能感が育ってきていることが示されており、今後も自分のよいところが発見できるよう、人権週間や教育相談等で啓発していく。

○「学校のきまりを守っていますか」では、全国平均を0.2ポイント上回っていた。ほとんど変わらない数値ではあるが、きまりを守ることは社会の原点ともいえる行為であり、今後もきまりの意義、守ることの重要性について指導していく。

○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」では、肯定的意見が全国平均を2.1ポイント上回っている。社会に役立つ意識が高いことがうかがえ、愛校の日の清掃活動や奉仕活動、道徳教育が実を結んでいるともいえる。今後も、機会を設け、称賛することで意識を高めていく。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」は、89.3%で全国平均を3ポイント上回っていた。学校を楽しいところと捉えることは、不登校児童を減らしていく第一歩でもあり、その楽しさは、個人としての楽しさだけでなく、集団としての楽しさでなければならぬ。クラス全体での楽しさ、学年全体での楽しさ、学校全体での楽しさを実感できるよう居心地のよい学級づくりに努めるとともに学校、児童会、クラスでの児童主体の活動を工夫していく。

●「学校の授業以外に30分以上読書をしていますか」は、26%で全国平均より10.4ポイント下回った。「昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にいきますか」は、週に1回以上行く割合は2.7%で全国平均を12.9ポイント下回っていた。本へ接する機会を増やすよう図書室で行う授業を増やしたり、読書の時間を設定したりしていく。

●「授業以外にどれくらい勉強をしますか」では、1時間以上の割合が55.4%で全国平均より9ポイント下回っている。家庭での自主学習の計画をしっかりと立てさせたり、その重要性を説明したりして自主学習への意欲を高めていきたい。また、意欲が高まるような評価をしていく。

●「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか」は、50%と全国平均を8.3ポイント下回っていた。家庭でのルールは、今後中学校でも大切なものとなっていくことであり、学年だよりや保護者会でその重要性和今がその絶好の機会であることを広報し、協力をお願いしていく。

●「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」では、54.5%と肯定的意見が全国平均より10ポイント下回った。「家で授業の予習をしている」は31.2%で全国平均より9.8ポイント、「家で授業の復習をしている」は、47.3%で6.5ポイント全国平均を下回っていた。予習、復習の相関関係は、全国学力状況調査等で指摘されていることであり、その重要性について家庭へ学年だより等で知らせ、予習復習の方法について適切な指導をしていく。

宇都宮市立富士見小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	全学年、自主学習のためのヒント集として、「家庭学習のすすめ」を配付し、自分に合った学習に取り組むことができるよう指導している。また、学年に応じて、家庭学習チェックカレンダーを活用し、学習時間の振り返りができるよう取り組んでいる。	「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に1時間以上取り組んでいると回答した割合が、55.4%で 全国と比べ9ポイント下回っている。 「家で学校の宿題をしていますか」の質問に肯定的に回答した児童の割合は93.8%だった。